

栗原の稲作通信

令和2年第7号 令和2年9月10日発行

宮城県栗原農業改良普及センター

宮城県米づくり推進栗原地方本部

電話番号 0228-22-9404

～8月6日出穂期のひとめぼれの刈取適期は、9月14日から9月22日の見込み～

■管内の出穂状況 ～ 管内の出穂盛期は、平年より6日遅い8月6日 ～

管内の出穂状況

地帯区分	出穂始期	出穂盛期	出穂終期
北部平坦	8/1 (4日遅い)	8/6 (6日遅い)	8/14 (5日遅い)
西部丘陵	8/4 (4日遅い)	8/8 (7日遅い)	8/13 (2日遅い)

* 出穂始期、出穂盛期、出穂終期は、それぞれ水稻作付面積見込みの5%、50%、95%以上が出穂した日

* () 内は過去5年の平均値との差を示す

■生育調査ほの生育状況 ～ ひとめぼれは、平年より穂数、㎡当たりの粒数は少ない ～

生育調査ほ（移植）の出穂後25日調査結果

調査ほ場 品 種	区 分	田植日	栽植密度 (株/㎡)	出穂期	穂揃期 葉色 (GM値)	出穂後25日調査						
						稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/㎡)	1穂粒数 (粒)	㎡当粒数 (百粒)	止葉葉位 (枚)	止葉葉色 (GM値)
① 築館太田 ひとめぼれ	本年	5月6日	15.9	8月3日	35.7	82.6	19.1	413	70.7	292.3	12.7	30.8
	前年比・差	2日遅い	94%	6日遅い	0.5	106%	110%	73%	120%	87%	0.3	-3.5
	平年比・差	1日遅い	95%	6日遅い	0.7	98%	105%	82%	107%	89%	-0.2	-2.1
② 若柳大林 ひとめぼれ	本年	5月20日	18.5	8月8日	36.6	86.7	17.2	511	59.8	305.3	12.7	32.1
	前年比・差	2日早い	100%	4日遅い	3.8	95%	93%	87%	98%	85%	-0.3	0.4
	平年比・差	1日遅い	96%	6日遅い	4.3	95%	94%	93%	97%	90%	-0.4	-0.4
③ 一迫中屋敷 ひとめぼれ	本年	5月13日	18.7	8月7日	33.8	76.0	18.1	370	66.5	246.2	13.4	30.0
	前年比・差	6日遅い	106%	6日遅い	-1.1	100%	99%	74%	100%	74%	1.4	-1.8
	平年比・差	4日遅い	106%	6日遅い	-0.1	96%	100%	81%	106%	85%	0.4	-0.7
ひとめぼれ 3か所平均	本年	5月13日	17.7	8月6日	35.4	81.8	18.1	431	65.7	281.3	12.9	31.0
	前年比・差	2日遅い	100%	5日遅い	1.1	100%	101%	78%	106%	82%	0.4	-1.6
	平年比・差	2日遅い	99%	6日遅い	1.7	96%	99%	86%	103%	88%	-0.1	-1.0
④ 築館留場 つや姫	本年	5月23日	16.1	8月15日	36.6	79.0	18.5	433	90.1	390.2	13.4	33.8
	前年比・差	並	82%	3日遅い	0.3	98%	98%	91%	122%	111%	0.4	-2.4
	平年比・差	4日遅い	89%	4日遅い	2.2	94%	107%	93%	120%	112%	-0.3	-0.6
⑤ 築館留場 だて正夢	本年	5月21日	19.9	8月13日	35.0	93.9	19.1	436	86.5	377.0	13.1	35.2
	前年比・差	10日遅い	96%	9日遅い	2.7	110%	103%	96%	108%	103%	0.1	-0.7
	平年比・差	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑥ 金成新桜町 萌えみのり	本年	5月9日	11.8	8月8日	40.6	79.1	19.9	486	76.5	371.9	13.3	38.2
	前年比・差	1日早い	98%	6日遅い	1.2	107%	99%	107%	92%	99%	1.1	2.5
	平年比・差	4日早い	94%	4日遅い	4.4	101%	99%	109%	91%	99%	0.2	2.6

※調査ほ場の平年値は過去5年平均。

直播展示ほ（べんもり湛水直播）の出穂後25日調査結果

調査ほ場 品 種	区 分	播種日	苗立数 (本/㎡)	出穂期	穂揃期 葉色 (GM値)	出穂後25日調査						
						稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/㎡)	1穂粒数 (粒)	㎡当粒数 (百粒)	止葉葉位 (枚)	止葉葉色 (GM値)
志波姫	本年	5月8日	92.2	8月15日	33.1	71.6	19.1	446	59.6	265.9	12.2	34.7
萌えみのり	前年比・差	5日早い	95%	2日遅い	0.3	105%	109%	84%	115%	97%	0.3	4.7

■今後の管理

●水管理 ～品質低下を防ぐため、落水は出穂後30日を目安に行う～

- ・刈取り作業を容易にするため、早めに落水する傾向がありますが、早期落水は米の整粒歩合が低下します。品質向上のため、**落水時期は出穂後25日頃、排水が良好なほ場では出穂後30日を目安**にしましょう。

●適期刈取

- ・出穂後の積算気温により刈取適期に目安をつけ、実際にほ場で熟色を見て適期を判断しましょう。

①積算気温による刈取適期の目安

品種別の刈取適期となる出穂後の積算平均気温

品種等の区分	刈取適期となる出穂後の積算平均気温 注)	適期刈取の留意点
やまのしずく等早生種	920℃	刈遅れによる胴割米の発生
ひとめぼれ	940℃～1,100℃	刈遅れによる胴割米の発生
ササニシキ	930℃～1,150℃	倒伏、穂発芽しやすい
みやこがね等晩生品種	950℃	刈取適期幅は狭い、穂発芽しやすい
つや姫	1,000℃～1,200℃	刈り遅れると茶米が発生しやすい

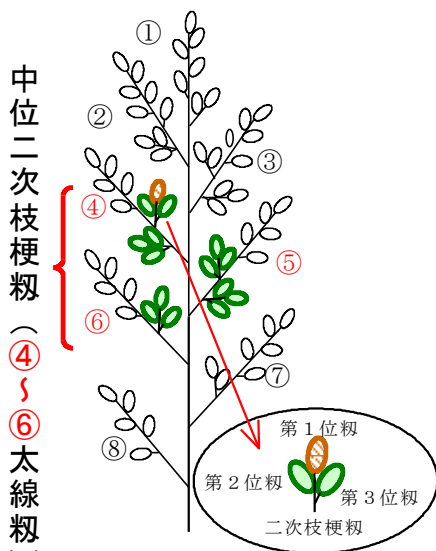
注) 出穂期翌日から平均気温を積算する

本年の積算気温による刈取適期の目安（ひとめぼれ、つや姫）

品種		7/31	8/3	8/6	8/9	8/12	8/15	8/18	8/21	8/24
ひとめぼれ	早限	9/7	9/9	9/13	9/17	9/21	9/25	9/30		
	適期	9/9	9/12	9/16	9/20	9/24	9/29	10/4		
	晩限	9/13	9/16	9/21	9/24	9/29	10/4	10/9		
つや姫	早限				9/20	9/24	9/29	10/4	10/9	10/14
	適期				9/25	9/30	10/5	10/10	10/16	10/22
	晩限				9/30	10/6	10/11	10/17	10/23	10/31

注) 出穂後の積算気温は、9/9まで実測値、9/10以降は平年値を使用した（アメダス築館）

②ほ場の観察による刈取適期の判定（ひとめぼれ）



刈取早限：第1位籾が殆ど黄化し(95%)，第2,3位籾が黄化開始
 刈取適期：第1位籾の黄化100%，第2,3位籾が30%黄化
 刈取晩限：第2,3位籾が50%以上黄化

- ・適期は、籾の90%程度が完全に成熟して黄色になり、穂軸が先端から3分の1程度黄変したときとなるので、葉色にまどわされないよう穂をよく観察し、刈り遅れないよう注意しましょう。
- ・ひとめぼれでは、平均的な株の中から枝梗数8本の穂を選び、中位（4～6番目）の二次枝梗の籾の熟色を観察して判断します。

●コンバイン収穫

- ・コンバイン収穫では、籾水分が高いと損傷が多くなるので、籾水分 25%以下を目標に刈取作業をしましょう。
- ・複数の品種の刈取を行う場合には、品種が替わる際に十分な清掃を行い、機械内における異品種の混入を防ぐよう注意しましょう。
- ・倒伏している場合は、刈分けを行い、収穫物に石などの異物が混入しないよう注意しましょう。

●乾燥・調整

- ・収穫した生籾を放置すると発熱して変質米の原因となるので、刈取り後はすみやかに乾燥しましょう。
- ・倒伏した稲や未熟粒の多い稲などを機械乾燥する場合は、二段乾燥（籾水分が 18%程度になったら火力乾燥を一時中断し、一定時間通風循環後を行う。）を行い、水分ムラや胴割米の発生を抑えましょう。
- ・正確な水分測定のためには、玄米の測定サンプルから未熟粒を取り除いて測定しましょう。また、こまめに水分測定して過乾燥を防止しましょう。仕上がり玄米水分は 14.5%～15.0%が目標です。
- ・籾摺りは肌ずれ防止のため、籾の温度を室温まで下げてから行いましょう。また、ロール式籾摺機の場合は、籾（品種）に見合った適正なロール間隔に調整しましょう。
- ・異品種の混入を防ぐため、品種が替わる毎に機械類の清掃を徹底しましょう。

.....

東北地方1か月予報（9月12日から10月11日までの天候見通し）
令和2年9月10日 仙台管区気象台 発表

特に注意を要する事項

2週目は、気温がかなり高くなる可能性があります。

予想される向こう1か月の天候

天気は数日の周期で変わるでしょう。

向こう1か月の平均気温は、高い確率60%です。

降水量は、多い確率40%です。

日照時間は、少ない確率40%です。

週別の気温は、1週目は平年並または高い確率40%です。2週目は高い確率60%です。

.....

秋の農作業安全確認運動実施中 ～令和2年9月15日から令和2年11月30日まで～

スローガン

見直そう！農業機械作業の安全対策

主な取組内容

『農作業事故の未然防止』 コンバイン作業は段差、傾斜に注意

『作業機付きトラクタの公道走行』 灯火器類・車両幅・安全性・免許の確認

『高齢者による事故の防止』 家族等への農作業事故防止啓発、作業者への声かけ徹底